



県立安積高校のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業

岩間 公典 在デュッセルドルフ
日本国総領事とのオンライン
交流を延期します



ターゲット 4. 7



ターゲット 7. a



ターゲット 17. 17

令和4年6月16日

郡山市産業観光部

産業創出課

課長 伊坂 透

TEL: 924-2271

SDGs ターゲット 4. 7 「2030 年までに、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」

SDGs ターゲット 7. a 「2030 年までに、クリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化する。」

SDGs ターゲット 17. 17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。」

6月15日（水）にお知らせしました岩間 公典 在デュッセルドルフ日本国総領事と県立安積高校のオンライン交流（別紙）は、諸般の事情により延期となりました。

本オンライン交流については、8月中旬以降に改めて開催する予定です。

県立安積高校のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業

岩間 公典 在デュッセルドルフ
日本国総領事とのオンライン
交流を開催します



ターゲット 4. 7



ターゲット 7. a



ターゲット 17. 17

令和 4 年 6 月 15 日

郡山市産業観光部

産業創出課

課長 伊坂 透

TEL: 924-2271

SDGs ターゲット 4. 7 「2030 年までに、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」

SDGs ターゲット 7. a 「2030 年までに、クリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化する。」

SDGs ターゲット 17. 17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。」

県立安積高校のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業において実施する、エッセン市のウルフスクーレ学校とのオンライン交流プログラムの一環として、ウルフスクーレ学校を岩間公典 在デュッセルドルフ日本国総領事が訪問し、オンライン交流を開催します。

- 1 日 時 6 月 20 日(月) 午後 5 時 30 分～午後 6 時
- 2 場 所 県立安積高校 視聴覚室（開成五丁目 25-63）
- 3 参加者 県立安積高校 代表生徒 約 20 名
（現地でウルフスクーレ学校の代表生徒 13 名程度、学校関係者も参加）
- 4 内 容 （1）県立安積高校の紹介
（2）ウルフスクーレ学校との交流経過や駐日ドイツ大使館との交流紹介
（3）質疑応答と意見交換
- 5 総領事プロフィール

在デュッセルドルフ日本国総領事 岩間 公典氏

兵庫県出身、昭和 61 年 4 月外務省入省。在ドイツ日本国大使館公使、大臣官房儀典長等を歴任。令和 2 年 1 月に在デュッセルドルフ日本国総領事として着任。令和 3 年 3 月に開催された県立安積高校とウルフスクーレ学校の共同プロジェクト報告会にて講評をいただき。また、昨年 3 月そして今年 4 月にエッセン市で開催された東日本大震災からの復興支援慈善コンサート（オンライン配信）にもご尽力をいただいています。



- 6 その他 県立安積高校担当 ^{つしま} 対馬 俊晴 教頭 TEL: 922-4310

<オンライン交流の経緯>

- 2019年度～2023年度 県立安積高校 第2期スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業指定
- 2019年9月 エッセン市と郡山市が「教育」と「次世代の人材育成」における都市間協力の合意書を手交
- 2020年 県立安積高校のエッセン市におけるパートナー学校がウルフスクーレ学校に決定し、SDGsをテーマとしたオンライン交流プログラムを実施
- 2021年 両校の生徒25名が5グループに分かれ、SDGsの各ゴールを1つ選択し、グループワークとディスカッションにより、そのゴールの達成に貢献する共同プロジェクトを企画



令和2年度の報告会の様子



駐日ドイツ大使館のSNSで紹介いただきました。



駐日ドイツ大使館訪問と活動報告

<ウルフスクーレ学校>

- 1968年創立。エッセン市が運営するギムナジウム（ドイツの中等教育機関、中高一貫校）で、5-12学年（日本の小学5年生から高校3年生まで）の生徒約950名が在籍。
- 自然科学等、科学・技術教育（MINT教育）、英語でのバイリンガル教育等に力を入れている。
- 同校グリーンクラブは生徒により創立・運営されている学生企業で、フェアトレード製品やサステナブルな衣服のオンラインストア等での販売、太陽光発電プロジェクト等、学校生活や地域の持続可能性を高めるプロジェクトに取り組んでいる。



昨年度のグリーンクラブの参加者



ドイツのオンライン交流の様子



令和3年3月にオンライン配信されたエッセン市主催「福島春：東日本大震災10周年復興支援コンサート」に合わせ、グリーンクラブが作成したロゴマーク